



琵琶湖森林づくり県民税の 活用状況について

滋賀県琵琶湖環境部森林政策課

琵琶湖森林づくり事業



▶ 環境を重視した森林づくり

- ①陽光が差し込む適切な森林整備
 - ・ 環境林整備事業、二ホンジカ捕獲など
- ②次世代の森の創生
- ③森林資源の循環利用と二酸化炭素の固定
 - ・ 間伐材の利用や機械化の促進など
- ④森林の防災機能の強化
 - ・ 災害に強い森林づくり事業



▶ 県民協働による森林づくり

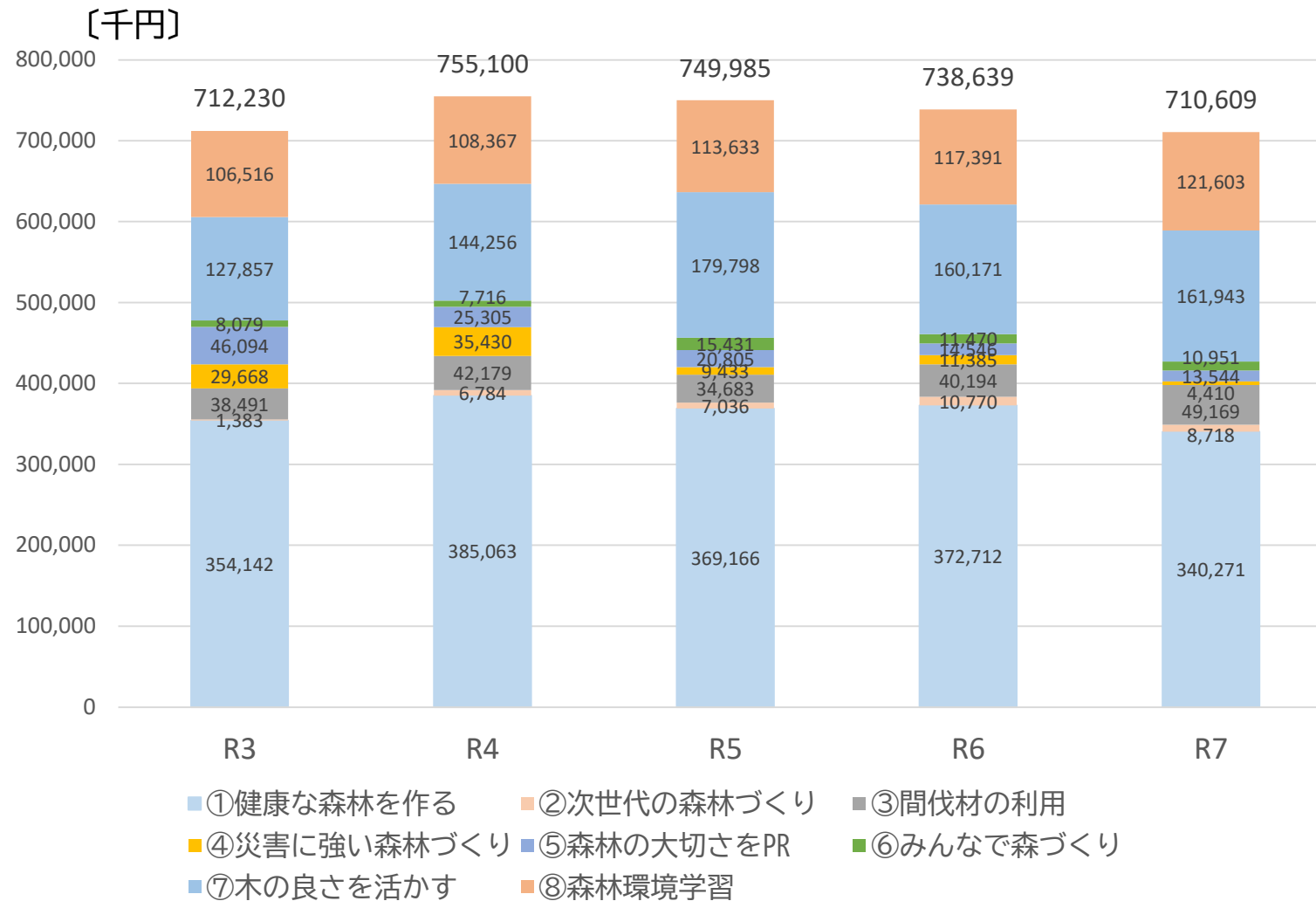
- ⑤森林づくりへの理解や参加の促進
- ⑥多様な主体による森づくり活動への支援
 - ・ 「やまの健康」（農山村の活性化）など
- ⑦木のぬくもりや良さの体感
 - ・ 「びわ湖材」の利用促進、「木育」の推進など
- ⑧森林環境学習や次代の人材育成
 - ・ 「やまのこ」や「しが自然保育」の推進など



県民税の事業費の推移



Mother Lake
Goals



(各年度の事業費は、前年度からの繰越を含む。)



Mother Lake
Goals

活用事例

≫ 琵琶湖森林づくり事業



Mother Lake
Goals

①陽光が差し込む適切な森林整備



強度に間伐を行い、針葉樹と広葉樹が混交する多面的機能の高い森林「環境林」へ誘導する

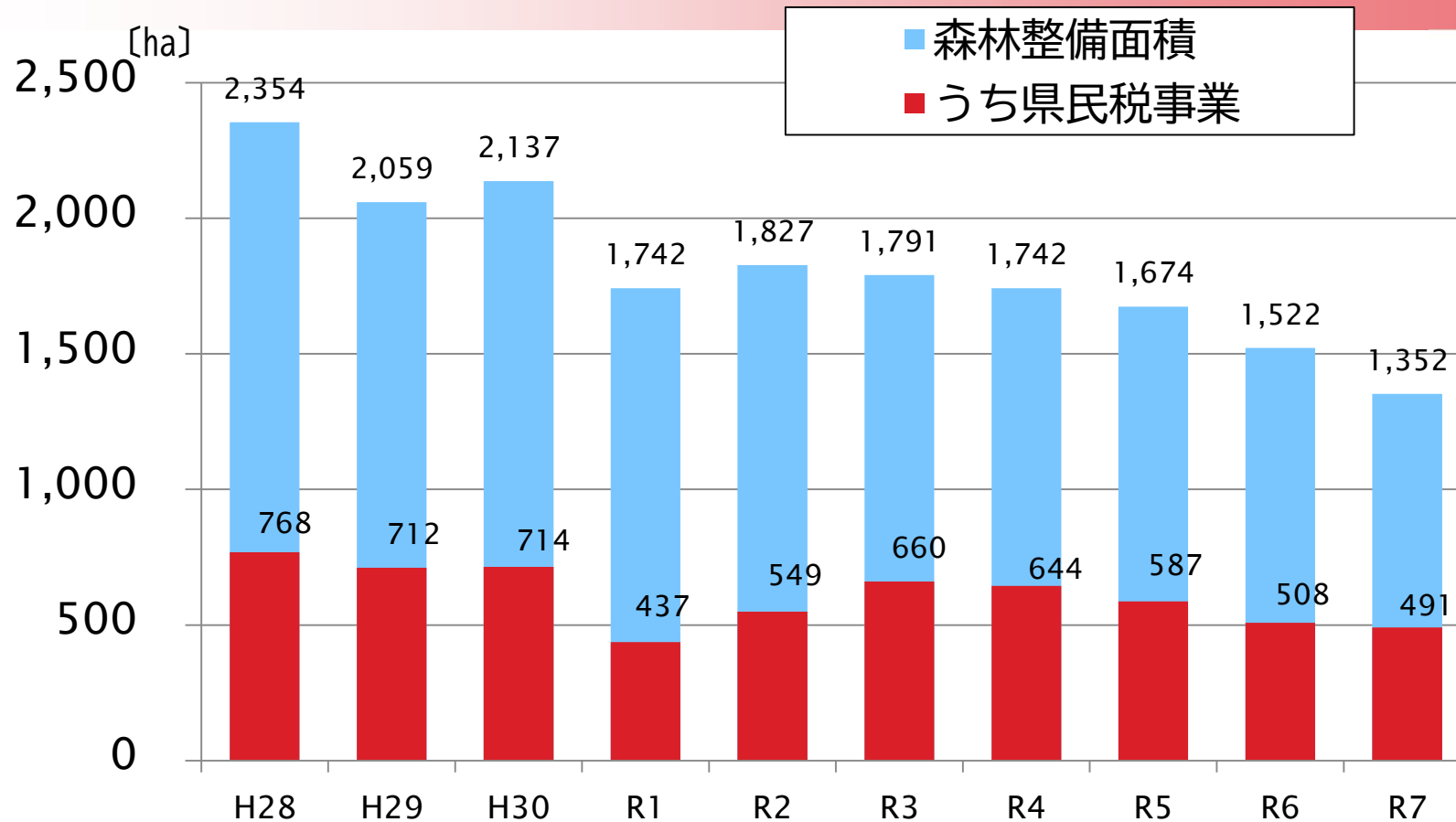


植栽木や下層植生に影響を与えるニホンジカの捕獲

森林整備面積



Mother Lake
Goals

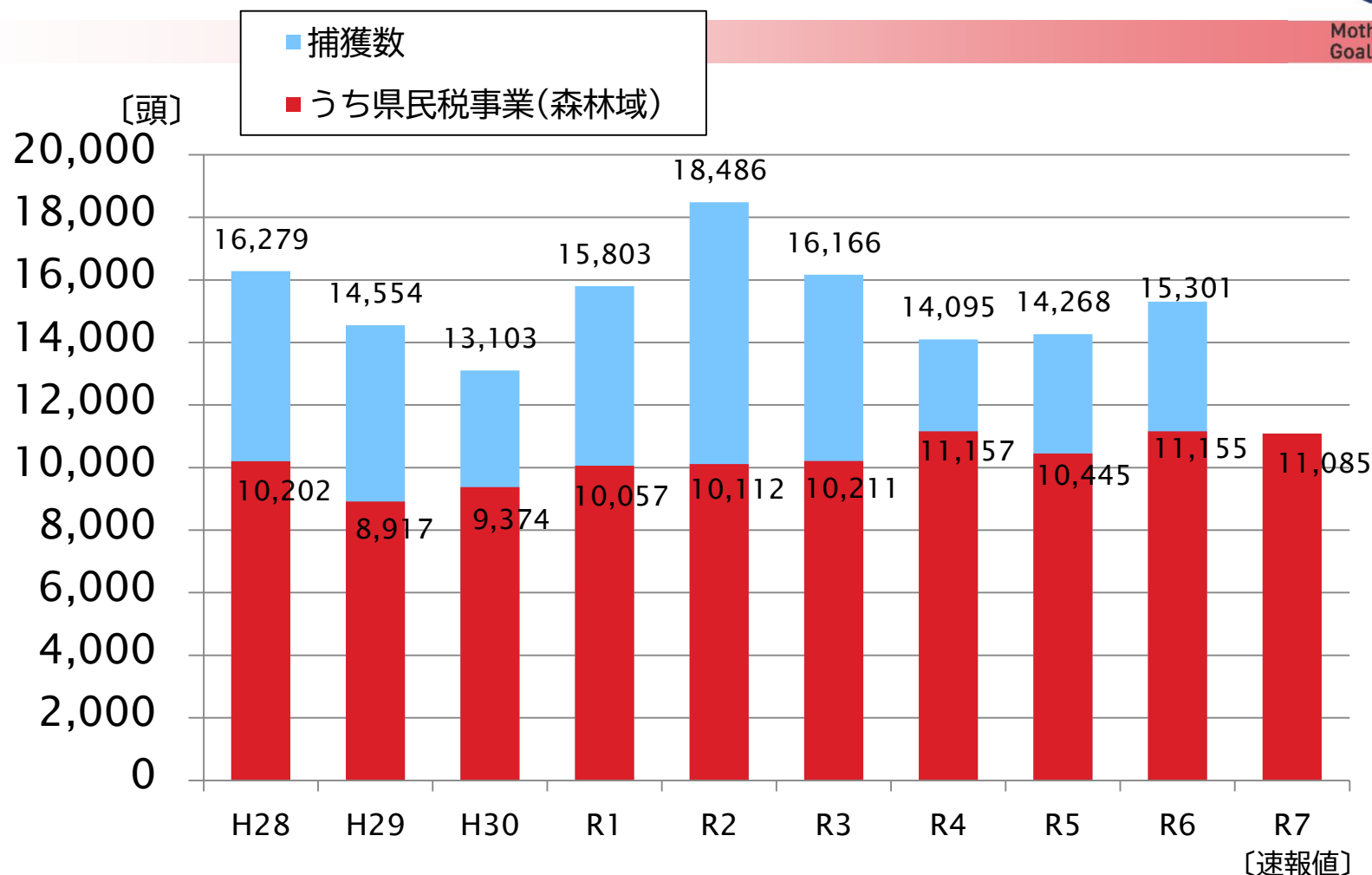


- ▶ 森林整備のうち、環境重視の視点に立った、環境林整備等について県民税事業により整備。

ニホンジカの捕獲頭数



Mother Lake
Goals



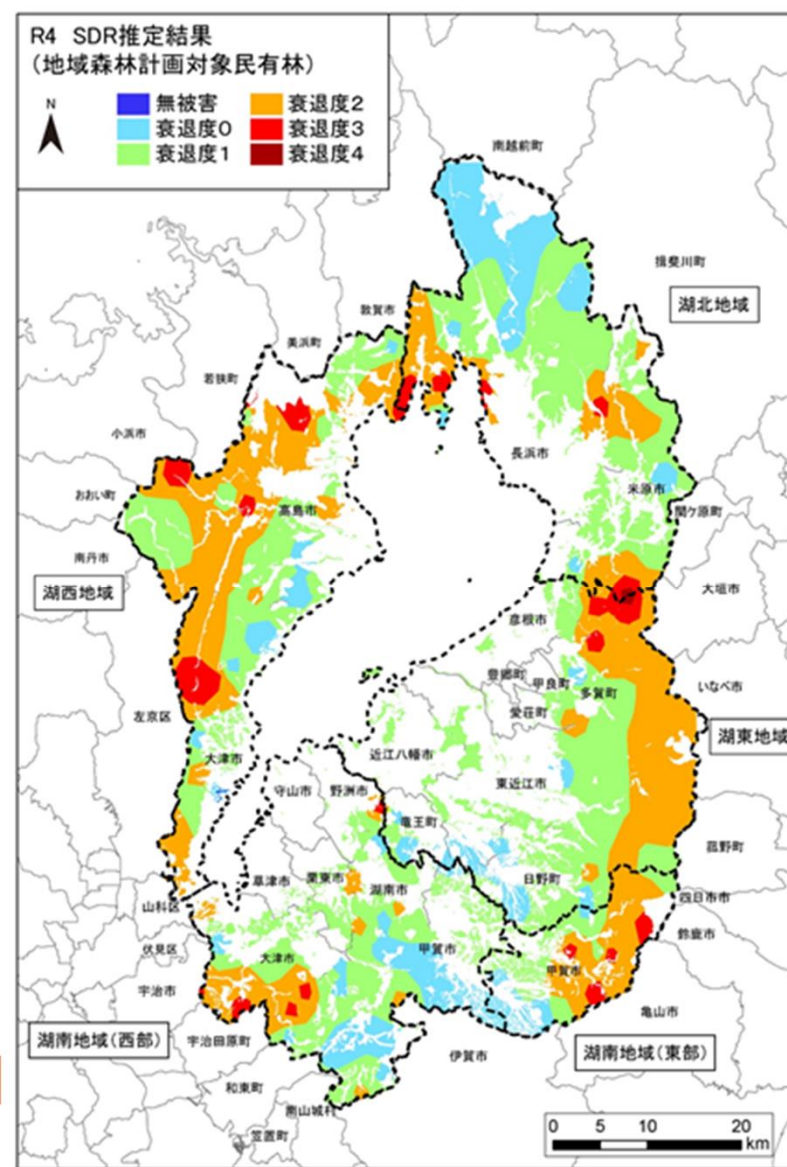
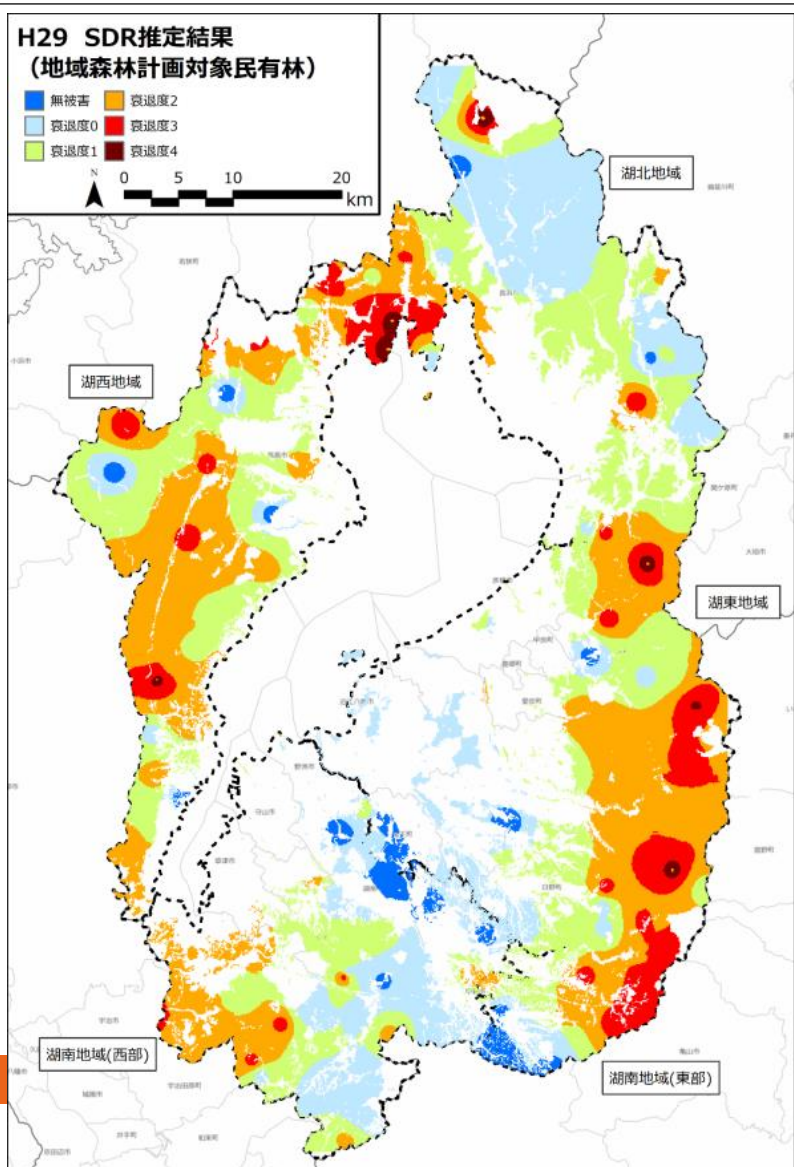
- ・ 森林域での捕獲に対し県民税事業で助成
- ・ 下層植生衰退の改善に寄与

下層植生衰退度調査結果

- 「下層植生衰退度3以上の森林の割合(R12目標:10%)」
H29:19%、R4:15% と、改善傾向にある。



Mother Lake
Goals

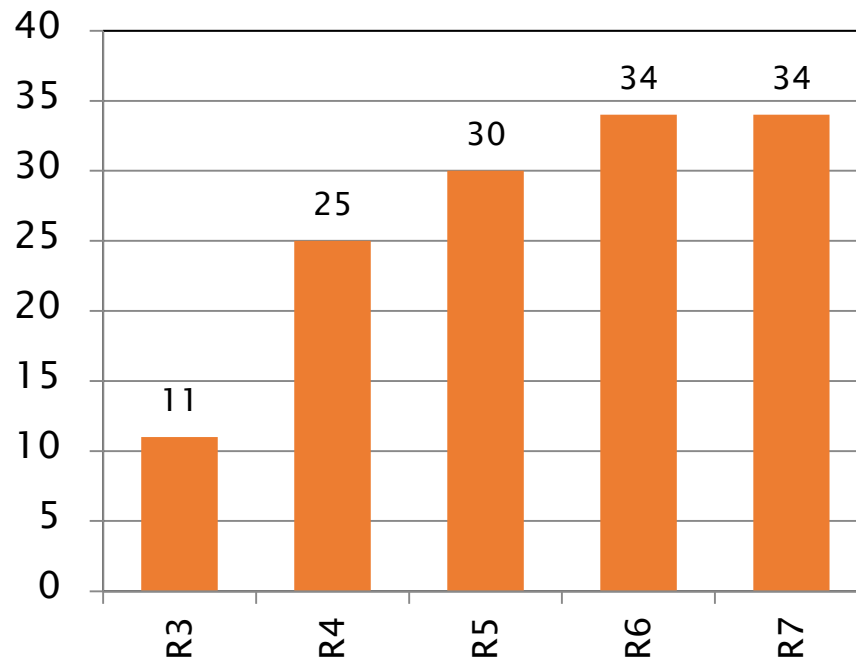




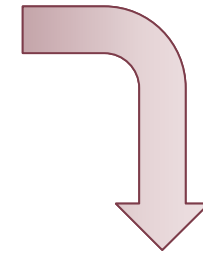
Mother Lake
Goals

④森林の防災機能の強化

箇所 ライフライン保全整備箇所数（累計）



整備前



整備後

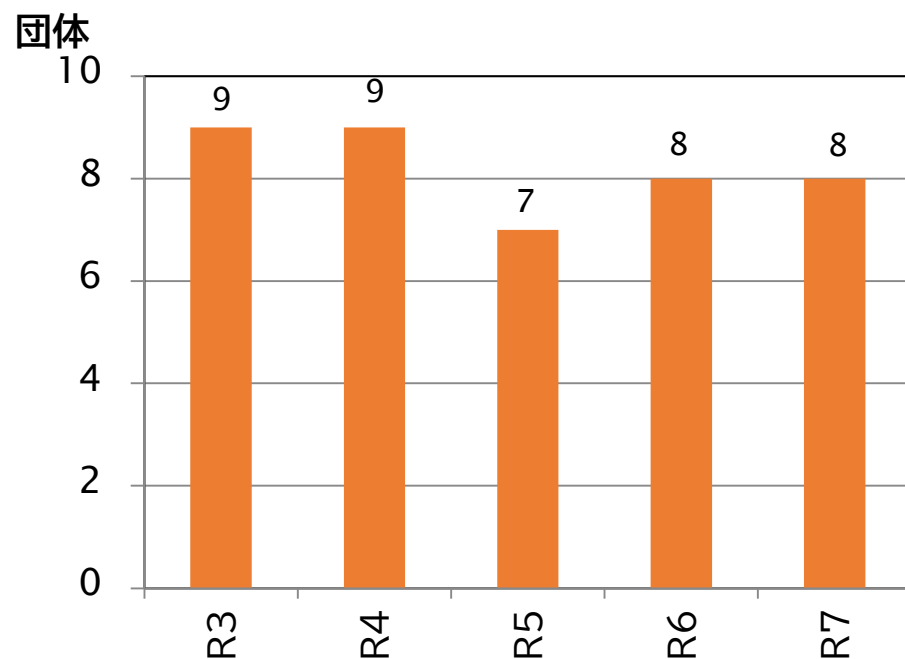
- 広域的な視点により、重要インフラ周辺の森林の予防伐採について県民税事業により支援

⑥多様な主体による森づくり活動への支援



Mother Lake
Coop

●森の恵み活用促進事業



スギ・ヒノキのアロマオイル
(森林資源活用)



森林ヨガ体験
(森林空間活用)



未利用材の地域内循環
(木炭の生産)



未利用材の地域内循環
(薪の販売)

- ・ 地域資源を活用した商品やサービスの開発に向けた取組について、県民税事業によりスタートアップの3年間について支援
- ・ 商品化し販売するなど取組が継続しており、農山村の活性化(やまの健康)に繋がっている。



Mother Lake
Goals

⑦木のぬくもりや良さの体感

- ▶ 木製品の導入
 - 木製備品の購入支援
- ▶ あらゆる用途への木材利用
 - 公共施設、住宅や民間施設などへの県産材利用拡大支援
- ▶ その他
 - びわ湖材利用の研究開発



保育施設での活用



一般住宅での活用

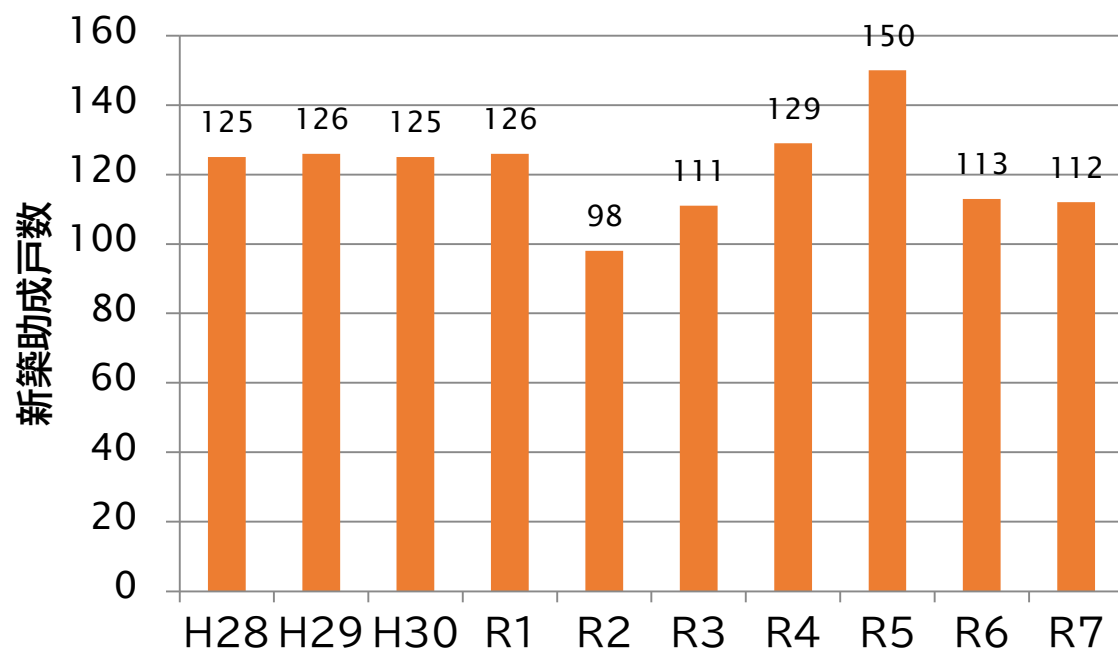


公共施設での活用

びわ湖材を使用した住宅の助成戸数



Mother Lake
Goals



びわ湖材を使用した住宅

- ・木に触れる機会を提供するため、びわ湖材を使用した一戸建て住宅等の新築等を森林県民税事業で支援



Mother Lake
Goals

⑦木のぬくもりや良さの体感

○「しが木育」

木とふれあい、木に学び、木と生活することにより、暮らしと森と琵琶湖のつながりを理解し、豊かな心を育む取組

- ・木育イベント開催等木育の場の確保
- ・保育所等へ木育製品の貸し出し
- ・木の魅力を伝える木育指導者の育成

つながる「しが木育」指針



木育イベント



木育製品の貸し出し



R5.4策定



Mother Lake
Goals

⑧次代を担う子どもたちへの森林環境学習

○自然を活用した幼児教育・保育を行う団体を認定する

「しが自然保育認定制度」

・・・認定団体数 15団体(R8. 4. 1現在)

○県内全ての小学4年生を対象とした森林環境学習

「やまのこ」・・・実施学校数 234校(R7、実施率100%)



自然保育実施状況



やまのこ実施状況